

# ぶどうの樹だより

vol.06  
2020.2.1

## NEWS LETTER

### ぶどうの樹キリスト教会

#### 「名前の由来」

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」

新約聖書 ヨハネの福音書 15章5節

この聖書のことばが『ぶどうの樹キリスト教会』の名前の由来です。イエス・キリストが『ぶどうの木』で、私たちは『ぶどうの枝』。枝は木を離れては実を結ぶことはできないので、ぶどうの木(イエス・キリスト)に繋がっていることの大切さを覚えておくため、この名前にしました。



日本福音キリスト教会連合  
宗教学人 ぶどうの樹キリスト教会

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町6-26



皆さんは、「教会」を訪ねたことがあるでしょうか？ 私たちの教会はキリスト教会のプロテスタントに属しています。「教会にはなかなか『敷居』が高くて、行ったことはない」という方も多いでしょう。また、宗教というものに疑いを抱き、「教会には行かない」という方もいると思います。そのような皆さんに、まずは教会に行かなくても、イエス・キリストがどういう方であるか少しでも知ってもらいたく、お便りを出しています。



ぶどうの樹キリスト教会  
牧師 三木 新

「愚か者は心の中で『神はいない』と言う。」

詩篇14篇1節

「家内安全」、「商売繁盛」、「無病息災」このようなことを掲げ、御神体が祀られている神社や仏閣が、日本には数多くあります。ということは、日本人たちは、かなり信心深いのではないのでしょうか。「神はいない」と考える人は、そう多くないはずですが。

しかし、キリスト教会の「神」となると、今でもまだ「毛嫌い」する方は多くいらっしゃいます。牧師の仕事をしている者としては、とても残念に思います。

少しでもキリスト教が伝える「神」、いや聖書そのものを通してご自身を躰わしている神様について、ぜひ知って頂きたいのです。

聖書は、

「愚か者は心の中で『神はいない』と言う。」

と語ります。つまり、聖書は「神はいる」と証言しているのです。

「では、キリスト教の神とやらがどのようなものであるのか教えてみてほしい。どんなメリットが自分たちにあるのか示してしてほしい」と仰る方がいるかもしれません。

しかし、聖書は語ります。

「いまだかつて神を見た者はいない。」ヨハネの福音書1章18節

「やはり誰も証言できないのではないか」、「結局、神は『目には見えない』と言って、逃げているだけではないか」と思うかもしれません。

けれども、上記の聖書の箇所直後で、「父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである」と聖書は証言しています。

そうです。父のふところにおられるひとり子の神イエス・キリストが、神を説き明かされたのです。このイエス・キリストの姿を見るとき、私たちは天地をお造りになり、私たちをもお造りになり、生かして下さっているお方を知ることになります。ぜひ、本物の神に出会って頂きたいと思います。